

吉原

舞鶴市立吉原小学校
学校だより
2学期始業式号
令和5年8月30日



2学期のスタートにあたって

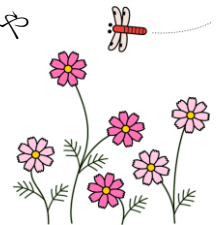
今年の夏休み期間中は連日、熱中症警戒アラートが発表され、エアコンのついた室内にいても、外気の暑さを感じる日々が続きました。地域プールも暑さのために中止となった日があり、観測史上最高という言葉をよく耳にしました。台風7号の影響で本校も避難所となりました。舞鶴市内も浸水や土砂災害など、甚大な被害が発生し、市民ボランティアの方々が現地に入り作業をされている報道もあり、困ったときに助け合える心の素晴らしさを感じたしだいです。被害にあわれた地域の皆様の一日も早い復興をお祈りいたします。



8月16日(水)に予定されていた吉原地域伝承行事【万燈籠】(京都府登録無形文化財)で、今年は子どもたちに「ソーラン節」の発表の機会をいただいていたのですが台風の影響で残念ながら中止となりました。

先日8月26日(土)には、PTAの環境整備作業を4年ぶりに実施されたところ、多くの方にご協力いただきありがとうございます。運動場や裏山はすっきりとし、教室や廊下の窓ガラスは輝きを取り戻して、さらにより良い環境となりました。

さて、今日から2学期が始まりました。夏休み中は子どもたちの大きな事故やけがの報告などもなく、始業式の日を迎えることができたことをうれしく思っています。校舎に子どもたちの元気な声が響き、いつもの活気が感じられ、やはり、学校の主役は子どもたちであることを実感しています。



始業式の中で、2学期のスタートである今日、「はじめの一步」を歩み出し、「あしたに一步」をつなぎ、そして「夢」に向かって、自分のペースを大切にしながら歩み続けてほしいと話しました。

吉原小学校が目指すところは、子どもたちが「なりたい自分を目指して頑張ろう」と思える学校づくりです。そのためにはまず、子どもたち一人一人を尊重し、個々の思いをしっかり受け止めることが大切だと思います。そして、そこから信頼関係が生まれ、人とのつながりが広がり、安心して学べる学校(環境)になると考えます。子どもたちが様々な行事や学習に取り組むことで、充実感や達成感、やりがいを感じ、日々成長し「夢」に向かって一歩ずつ前進してほしいと願っています。



運動場の整備

保護者や地域の皆様に信頼される学校となるよう努めてまいります。引き続き、ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

校長 松岡 信次
教職員 一同